



あそんでいってください。

高浜町

とじこみふろく
すみずみ
マップ



・高浜町産業振興課 ☎0770(72)7705 ・若狭高浜観光協会 ☎0770(72)0338 ・高浜町商工会 ☎0770(72)0226
2021年1月改訂



ゆっくりしていってください。

高浜町

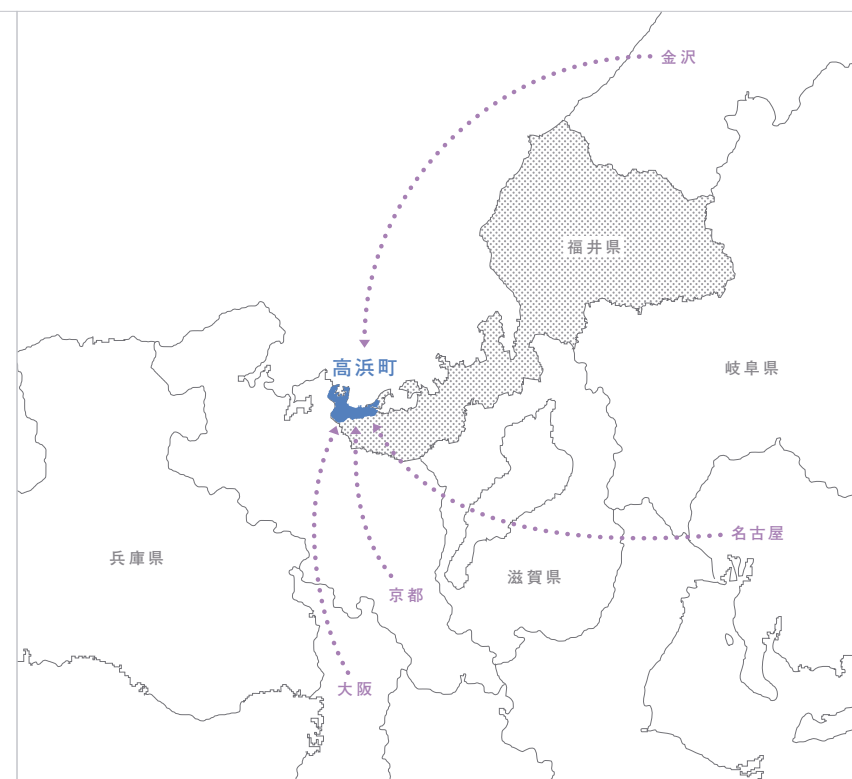
とじこみふろく
すみずみ
マップ



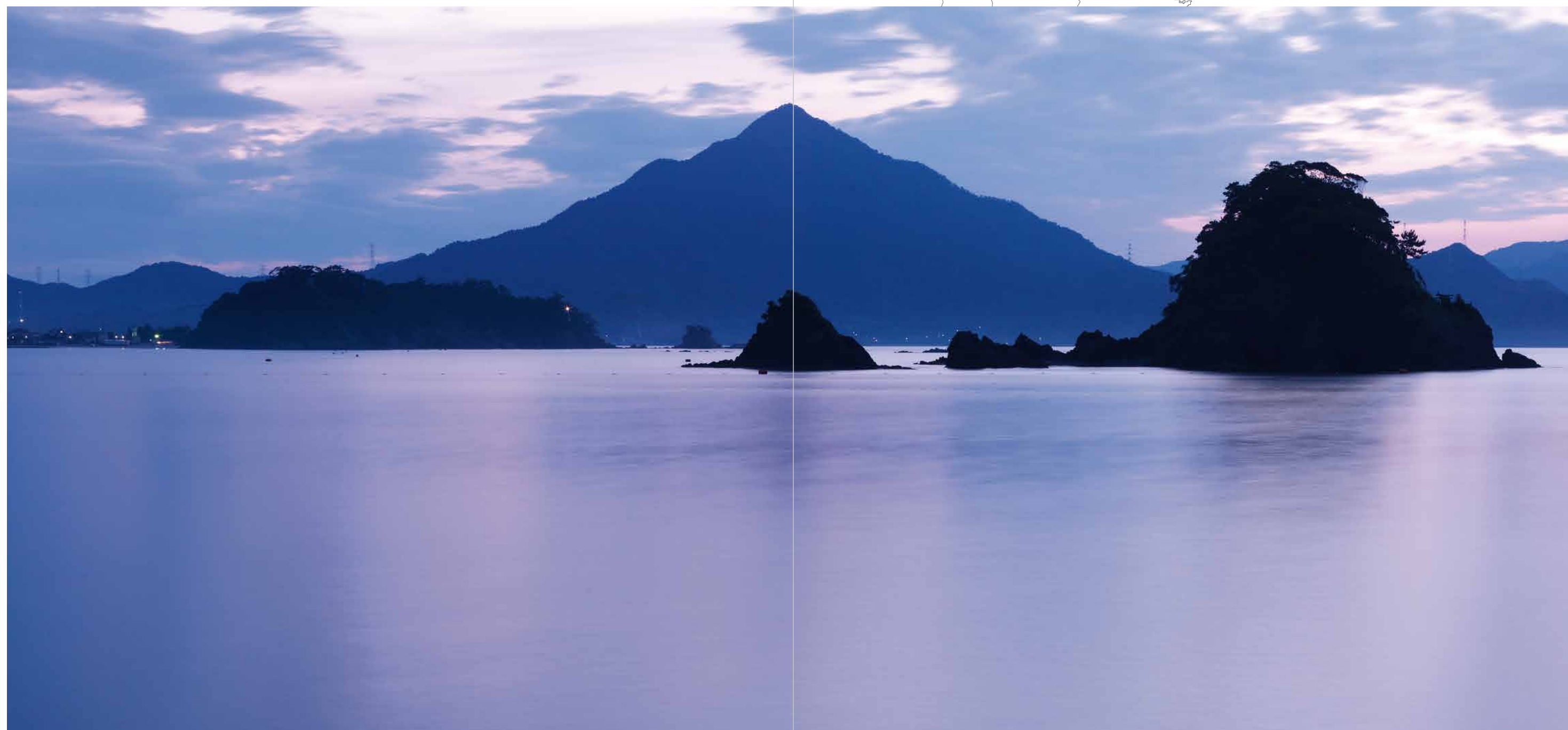
はじめての町で、 出会うもの。

福井県のいちばん西、はじめて訪れたその町で。
ゆっくり時間を過ごすと、きっと見えてくるものがあります。
青葉山に日が落ちるときの空の色。浜の砂の白さ。町の人々の照れたような笑顔。
路地裏に流れる暖かい時間。突然あふれかえる祭りの熱。

ほら、この町が、きっと好きになる。また訪れたいくなる。



高浜町へようこそ。



浜からのぞむ青葉山

海は、 いくつもの表情で。

海が、笑っているような気がする日がある。
海が、黙っているような気がする日がある。
自然のままのこの町では、
自然の機嫌がよくわかります。
さあ、若狭地方特有の貝殻が砕けてできた
まっ白な砂が迎える、8つのビーチへ。



古くから保養地として知られ、遠浅の海と広い砂浜が多くの人に愛されてきた、夏の高浜



難波江は、元気なビーチ。ビーチ
の中に車で乗り入れられるから、
海遊びにぴったりです。



えびす浜パークは、大人のビーチ。
静かな海辺で、小説でも読み
ながら、落ち着いた時間を。



はまなすパークは、パノラマの
ビーチ。波打ち際の先に見える、
青葉山がとても印象的です。



若宮は、家族のビーチ。海釣り
桟橋にも近いので、親子でいっ
しょにたっぶり遊んでください。



城山は、おだやかなビーチ。
波が静かなので、日が暮れる
まで、ゆっくりと過ごせます。



鳥居浜は、通のビーチ。遠浅で
青く澄んだ海。サーファーにも
特に人気のあるビーチです。



白浜は、はだしのビーチ。まっ白
な砂浜の上で、素足になって
思いっきり遊んでください。



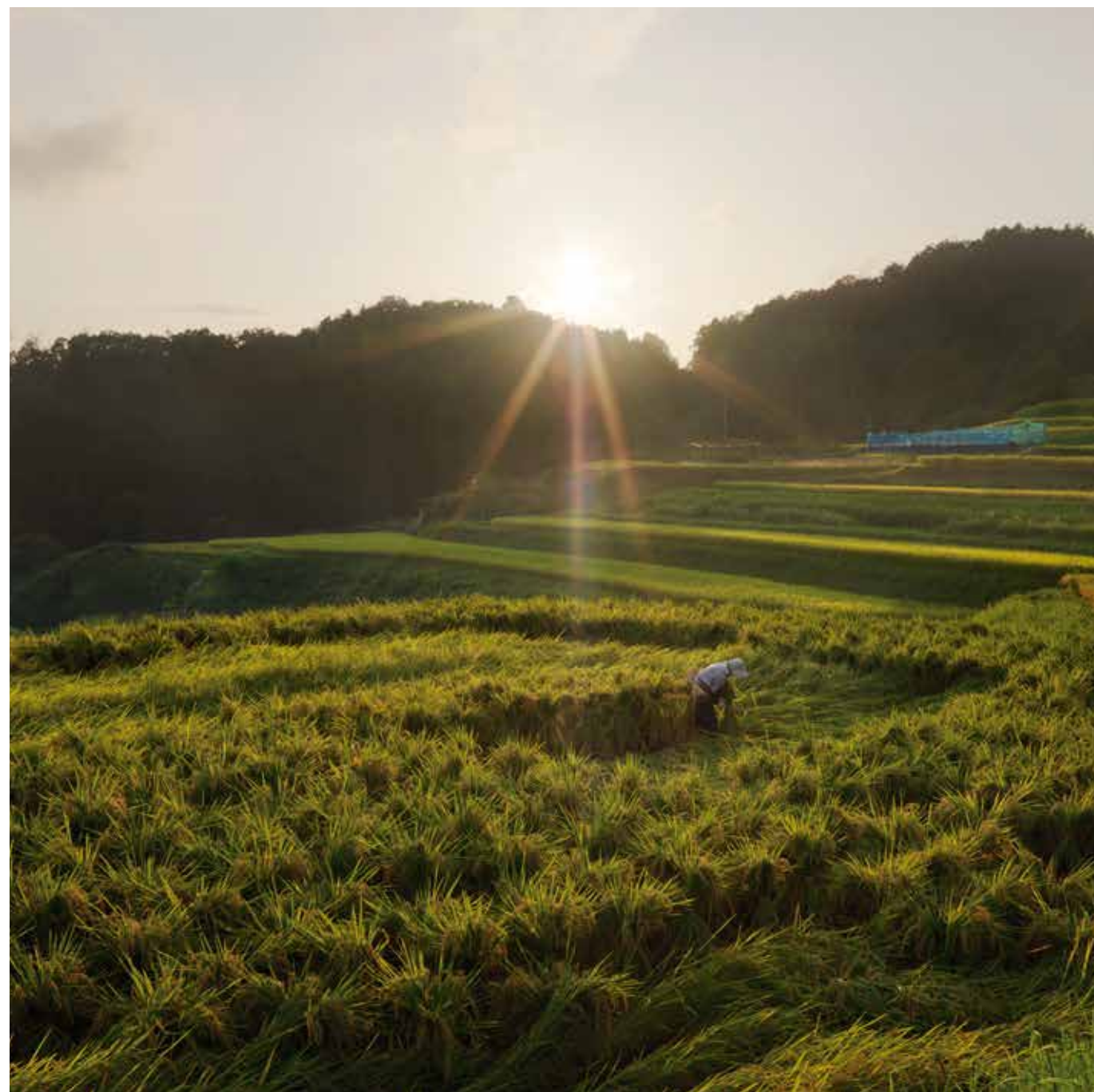
若狭和田ビーチは、笑顔の
ビーチ。平成28年4月にブルー
フラッグを取得したいちばん
人気のビーチです。

青葉山と ともに生きる。

稲穂がゆれる、穏やかな棚田。
緑に映える、はまなすの花。
青葉山は、高浜の心の山。
山を歩き、目を閉じて、深呼吸をして。
ここには、きっと、
目に見えない力が存在するような気がします。



海があり、山があり、この町は、まるで小さな日本。高浜全景



ずっと残したい風景、黄昏の稲刈り



「日本の棚田百選」に選ばれた日引の棚田



地元の人は「あおばさん」と親しみを込めて呼ぶ、青葉山



日本海の荒波がぶつかる音が響く、豪快な音海大断崖



高浜の町花でもある、はまなすの花と実

不思議な発見がある。

高浜城の跡地、城山公園から海を見る。のぞむ崖には、ぽっかり空いた神秘的な穴。その奥に広がる水平線は、鏡に映ったような美しさで、不思議な魅力をたたえています。



緑の芝生の先に、青い海。春はお花見、夏は海水浴、秋冬はピクニックを。四季を楽しめる城山公園



夕暮れどき、マジックアワーの明鏡洞

隠れた宝物がある。

ここにも、あそこにも、重要文化財が。誰もいない、ひっそりとしたお寺に、日本が誇る歴史遺産が眠っています。しーっ。お静かにどうぞ。



堂々とした風格と歴史を感じさせる、国指定重要文化財、中山寺本堂



「七年祭」で知られる、佐伎治(さきち)神社



聖徳太子が創建したと言われる、馬居寺



33年に1度、ご開帳される、中山寺の国指定重要文化財、馬頭観音像

路地で、迷子になろう。

古民家が肩を並べる狭い通りに入ると、懐かしい時代に迷いこんだような気分に。路地を抜けた向こうに、海が見える瞬間は、高浜で、いちばんわくわくする瞬間のひとつです。



狭い路地に、昔と変わらないあたたかい暮らしが息づく、和田路地

漁業の歴史を伝える、漁村文化伝承館



美しい夕陽に染まる、静かな海と漁船



国の登録有形文化財に指定された、旧京都電灯 高浜営業所



町屋、蔵、かわら屋根。昔の往来の面影を残す、旧丹後街道



角を曲がるたび、出会いがある。路地稲荷

若狭の恵みは、おいしい。

若狭名物のふぐ、かに、旬の魚。この地が発祥と伝えられる、お鮓。どこの料理屋さんに行っても、料理の量がちょっと多めなのは、無口なこの町の人たちのせいいっぱいのおもてなしです。



日本海でとれたばかり。身がきゅっと引き締まって食感が良い、**若狭のふぐ**



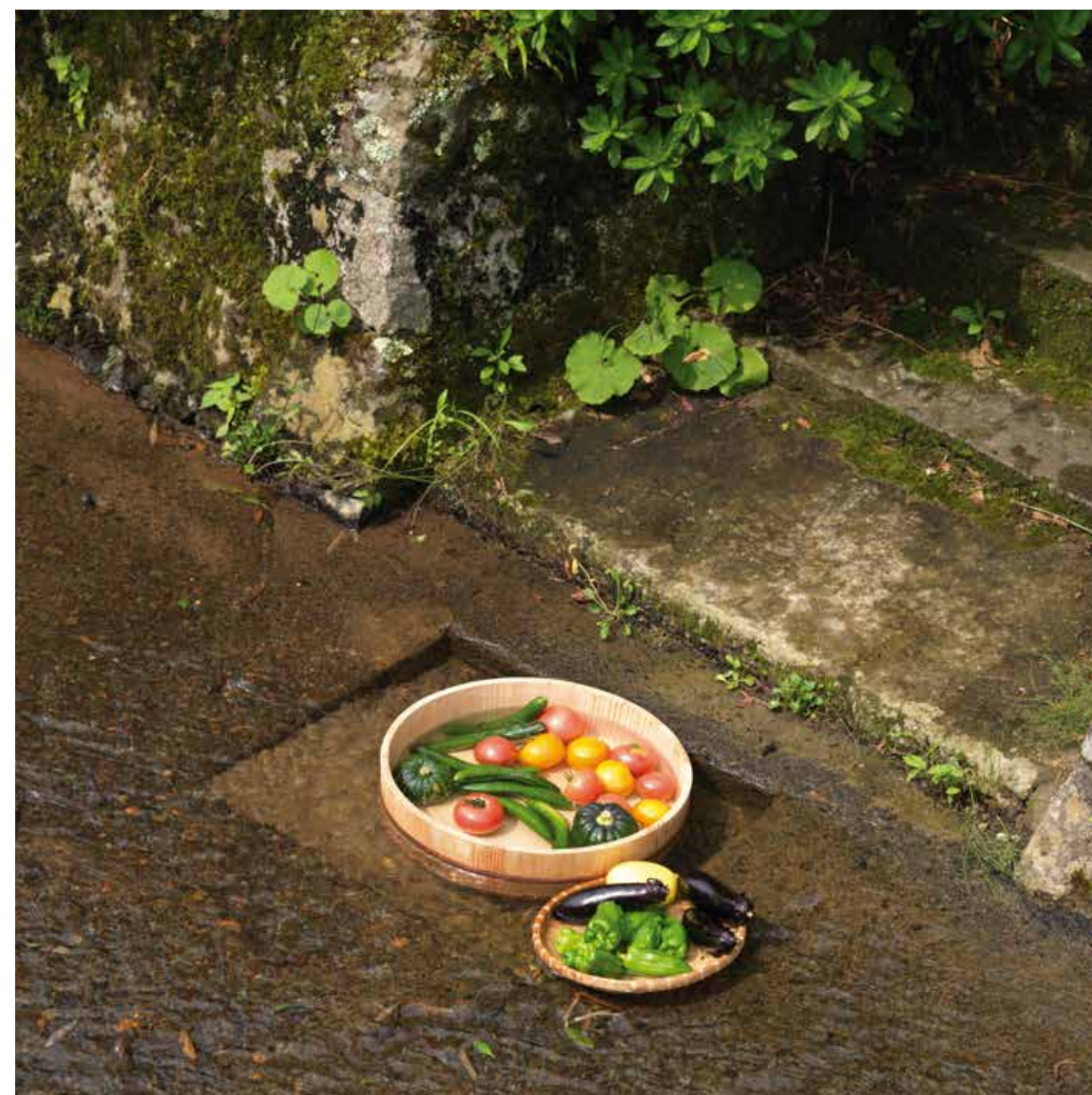
寒い冬にはあつあつのお鍋で。身がふりふりで歯ごたえ抜群の**かに**



魚市場には、若狭ならではの魚が並ぶ。**若狭ぐじ(赤甘鯛)**の鯉り市



はもと加工販売所で海の幸を。左から「くしもん」「海華漬」「甘鯛灰干し」「ととまる」



うーん、食べたい。川の水で冷やされる、青葉山で育った**夏野菜**

なにせ、お祭り好きなものですから。

夏になると、いつも、どこかでお祭りが開かれているくらい、この町の人々は、お祭り好き。創作花火に、興奮するか。自然に戯れ、地球を想うか。普段は、静かな町が、祭りの日は、熱気あふれる町に変わります。



ひとつひとつの光に想いをこめて。浜辺から、町中まで、無数のキャンドルが美しくともる、**漁火想**。幻想的です。



地元のお祭り好きな若者たちがはじめた創作花火、**檜龍（やぐらドラゴン）**。荒々しい光と音で漁火想を盛りあげます。



毎年8月1日は、**花火大会**。大迫力の打ち上げ花火やスターマインから、水中花火やしかけ花火まで。音が体に響きます。



毎年秋に開催される**若狭高浜はまなすまラッソ**。子どもも、大人も、浜風をうけながら、海岸線を元気に走りまわります。



7年に1度だけ。だから、ここまで盛り上がる。若狭地方最大の夏祭り、**七年祭**。町の外からも多くの人押し寄せます。



自然とともに生きる町だから、自然を大切にしたい。**ブルーフラッグ**(国際環境認証)を日本で初めて取得し、活動しています。



毎年春の訪れとともに、商店や家々が、ひな人形を一堂に展示する、**ひなまつりロード**。中には、江戸時代のひな人形も。



若狭高浜ふくまつり。日本最北端の養殖地で育った、身の締まったぶりぶりの若狭ふく(トラフグ)をお楽しみください。



夏の思い出を華やかに彩る**水中花火**